

平成26年1月15日

豊能町地域公共交通会議分科会

委員各位

豊能町地域公共交通会議分科会 会長 内田 敬

豊能町地域公共交通会議第8回分科会結果について（報告）

第7回分科会において指摘があり、継続案件となっておりました基本構想案の修正にかかる検討にかかる第8回分科会（持ち回り）につきまして、下記の通り結果を報告します。

記

1. 第7回分科会での指摘事項

- ・（住民意見等を聴く上で）基本構想について、短期、中長期といった年次を示したものが必要

⇒構想について短・中・長期に分け、より具体的な計画についても事務局で策定し、持ち回り分科会で検討することとした

2. 第8回分科会における主な意見

① 全般

- ・評価サイクルの記載が必要

② バス運行について

- ・車両や人員について東西バスと同条件で実施する場合、運転手の休憩時間を考慮したダイヤの検討が必要

- ・箕面病院、箕面市との調整によってはダイヤが大幅に変わる

③ バス運賃について

- ・乗り継ぎにより東西間移動の費用が大きくなるため、何らかの割引措置の検討が必要だが、構想の最終形（路線バスの乗り継ぎ）もみこして考えなければならない

- ・回数券補助などの方法もあるが、乗り継ぎ限定とするのは難しい

- ・大阪市営バスや阪急バスでは乗り継ぎ割引制度がある。箕面市でもオレンジゆずるバスと路線バスの乗り継ぎ割引があった。制度として可能だが、割引券交付機器の設置が必要。代替バス・路線バスそれぞれに必要となり、設置費用が高額となる

④ デマンド運行

- ・バス停まで遠い地域は利用がしにくいため、路線の検討が必要

- ・わかりやすさ、利用しやすさを優先したダイヤ設定が必要

- ・急激に内容を変えても需要がつかめない。わかりやすいものにした上で、利用状況を見ながら内容を改善した方がよい

⑤ その他

- ・タクシーも公共交通。ときわ台駅周辺整備検討への参画やバリアフリー車両の導入なども考えていきたい

3. 今後について

- ・別紙（第9回分科会資料）のとおり案を修正

- ・次回分科会において住民（各中学校PTA）及び能勢電鉄に出席してもらい、意見を聞いた上で、パブリックコメント案としてとりまとめる